



# NM世界投資適格社債ファンド

## 円投資型1903/米ドル投資型1903

ケイマン籍/契約型/単位型外国投資信託

交付目論見書のご請求・お申込みは

## 野村証券

野村証券株式会社

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第142号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

管理会社 BNYメロン・インターナショナル・マネジメント・リミテッド

投資運用会社



BNY MELLON

BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第406号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会



# ファンドの特色

1

主に、発行体の実質的な国が経済協力開発機構(OECD)加盟国などである社債への投資を通じて、ファンドの資産価値を中長期的に維持しまたは成長させつつ、安定的なインカムの獲得を追求することを目指します。

- 主に先進国の主要通貨建ての投資適格社債へ投資を行います。
  - 投資対象の格付けは、取得時において原則としてBBB一格相当以上\*1とします。
- \*1 複数の格付け機関により異なる格付けが付与されている場合は、原則として上位の格付けを採用します。
- ※ 主要通貨とは、米ドル、ユーロ、英ポンド、豪ドル等をいいます。

2

円投資型1903と米ドル投資型1903の2コースがあります。

- 米ドル投資型1903については、米ドル以外の通貨建て資産に対しては、原則対米ドルでの為替取引を行います。
  - 円投資型1903については、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの軽減を図ります。
- ※ 為替取引(為替ヘッジ)については16ページをご参照ください。

3

原則、年4回分配を行います。

- 分配は、原則として毎年3月、6月、9月および12月の5日(ファンド営業日\*2でない場合はその直前のファンド営業日。以下「分配基準日」といいます。)時点の受益者に対して行われます。
  - 初回の分配基準日は2019年6月5日(水)となります。
- \*2 ファンド営業日とは、ルクセンブルグ、ニューヨーク、ロンドンおよび東京の銀行および日本における販売会社が全て営業を行う日(毎年12月24日を除きます。)、または管理会社が随時決定するその他の日をいいます。
- ※ 分配金の支払いは管理会社の裁量に基づくものであり、分配が行われなくてもあります。また将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

# 投資リスク①

ファンド証券の価格は上昇する場合もあれば下落する場合もあります。ファンドへの投資には、大きなリスクが伴います。投資者は、ファンドへの投資の全部または大部分を失う可能性があります。リスク要因に関する以下の記述は、ファンドへの投資に伴うすべてのリスクを網羅するものではありません。ファンドの信託財産に生じた損益はすべて受益者のみなさまに帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。投資信託は預貯金と異なります。

金利の変動リスク	債券は、市場金利の変動により価格が変動します。一般的に金利低下時には価格が上昇し、逆に金利上昇時には価格が下落する傾向があります。その価格変動は、残存期間・発行の条件等により異なります。
債券のリスク	債券は、発行体が債務の元利金を支払うことができないリスク(信用リスク)を伴うほか、金利感応度、発行体の信用力の市場における認識、一般的な市場流動性等により価格が変動する可能性(市場リスク)があります。発行体が適時に元利金を支払うことができない場合(またはそれが予想される場合)、当該債券の価値を決定することは困難です。したがって、評価は概算となり、評価者によって異なる可能性があります。流動性のある売買市場がない場合、その債券の適正価格を決定できないことがあります。ムーディーズ、S&Pまたはその他の認知された格付業者が付与した格付には、債券の市場価格の変動性または流動性の評価は織り込まれていません。債券の格付が投資時点よりも下がった場合は、換金できない可能性があります。
外国為替市場のリスク	<p>円投資型1903は円建てであり、その1口当たり純資産価格も円で表示されます。また、米ドル投資型1903は米ドル建てであり、その1口当たり純資産価格も米ドルで表示されます。投資対象資産は米ドル、ユーロ、英ポンド、豪ドルその他の通貨建ての資産です。</p> <p>●投資対象資産に係る為替取引          管理会社および／またはその委託先は、米ドルと米ドル以外の通貨の間の変動に対する米ドル以外の通貨建て資産の通貨エクスポージャーを完全にヘッジすることを目指しますが、米ドル以外の通貨建て資産の価格が今後変動することなどにより、当該エクスポージャーを常に100%ヘッジできるとは限りません。</p> <p>●円投資型1903に係る為替ヘッジ          円投資型1903については米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行うことで為替変動リスクを軽減しますが、当該投資対象資産の価格が今後変動することなどにより、当該為替リスクを100%回避できるわけではありません。また、為替ヘッジを利用した場合、米ドルが円に対して上昇しても、円投資型1903の純資産価格は上昇するものではありません。また、円の金利が米ドルの金利を下回る場合、これらの金利差は、円投資型1903の受益者のヘッジコストとなります。円の金利が米ドルの金利を上回る場合、これらの金利差は、円投資型1903の受益者のヘッジ差益となることが期待されます。</p> <p>外国為替取引市場は、変動性が極めて高く、高度な専門的技術を要します。これらの市場では、流動性や価格の激変等が極めて短時間に発生することがあります(数分間に発生することも少なくありません。)。外国為替取引リスクには、為替リスク、金利リスク、および為替市場、外国資本による投資または特定の外貨取引の規制を通じた外国政府の介入の可能性などがあります。</p> <p>ヘッジ戦略の効果は、為替や金利の動向により変化することがあります。ヘッジ戦略に使用される先渡契約等とヘッジ対象となる米ドル建てポートフォリオの値動きにおいて、その相関性に变化が生じることがあり、管理会社またはその委託先は、そうした相関性を完全に保つことができない場合があります。こうした不完全な相関性によって、管理会社またはその委託先が意図するヘッジを達成できない、またはファンドが損失を被る可能性があります。</p>

当資料は、ファンドのご紹介を目的としてBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社の情報提供により野村証券株式会社が作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。また、リスクに係る説明(2~3ページ)をご覧ください。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする交付目論見書の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## 投資リスク②

為替先渡契約の リスク	ファンドは、店頭為替先渡契約をする際に、取引相手の信用破綻または取引の不履行のリスクにさらされます。取引が不履行となった場合、取引から期待された利益が得られない結果となります。
デリバティブのリスク	ファンドの投資戦略を実現するために、先物などの広範囲なデリバティブ商品を利用することができます。デリバティブでは取引を実行する際に支払う金額に比べて市場のエクスポージャーが極めて大きい場合が多いため、不利な市場変動が比較的小規模であっても、投資元本全額を失うばかりでなく、当初の投資額を上回る損失を被ることがあります。 ※当ファンドにおいて、デリバティブ取引は、ファンドの投資目的を達成するためのヘッジ目的でのみ行う予定です。
取引相手のリスク	ファンドは、契約の条件に関する解釈の相違(正当な主張であるとは限りません。)を理由として、または信用もしくは流動性の問題から取引相手が条件に従って取引を決済しないリスクにさらされ、その結果、ファンドが損失を被ることになる場合があります。取引相手が債務不履行に陥らないとの保証はなく、ファンドが結果として取引に基づく損失を被らないとの保証もありません。
投資目的未達成の リスク	副投資運用会社は、損失のリスクを最小限に抑えられると同社が考える投資戦略を実行する予定ですが、その戦略が成功する保証はありません。

※詳しくは交付目論見書の「投資リスク」をご覧ください。

### <その他の留意点>

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

※ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン・コーポレーションおよびその支配下にある子会社または関係会社は、米国の規制であるボルカー・ルールに基づき、一定の対象ファンドについて、投資額の制限、従業員および取締役による投資の制限、一定の取引の禁止、保証を行わないこと等を含む制約を受けます。ファンドはボルカー・ルールの適用対象です。



# 主要投資対象証券のポイント

ポイント

1

## 先進国の投資適格社債への投資

- ✓ 投資適格社債は、高利回り債券と比べて信用力が高く、債務不履行(デフォルト)に陥る可能性が低いです。
- ✓ また、利息収入の積み上げや、相対的に高い格付け、流動性の高さなどから魅力的な投資対象として注目しています。

ポイント

2

## 相対的に魅力的な利回り水準

- ✓ 主要投資対象である世界投資適格社債は、日本債券や世界国債などと比較しても高い利回りが期待できます。

ポイント

3

## 相対的に良好なパフォーマンス

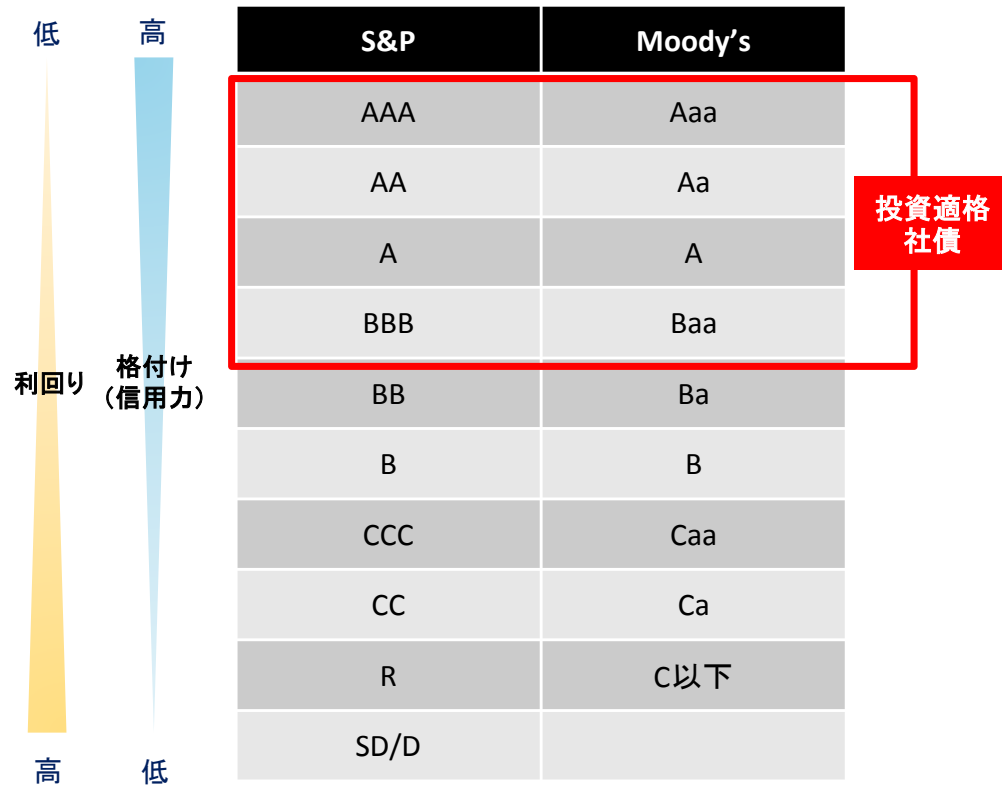
- ✓ 利息収入の積み上げ効果、相対的に高い格付け、流動性の高さなどを背景に安定的な値動きを示す傾向があります。
- ✓ 世界投資適格社債は、他の債券と比較しても相対的に良好なパフォーマンスを示しています。
- ✓ 長期間保有することで、より安定的なリターンを獲得することが期待されます。

# ポイント1:先進国の投資適格社債への投資

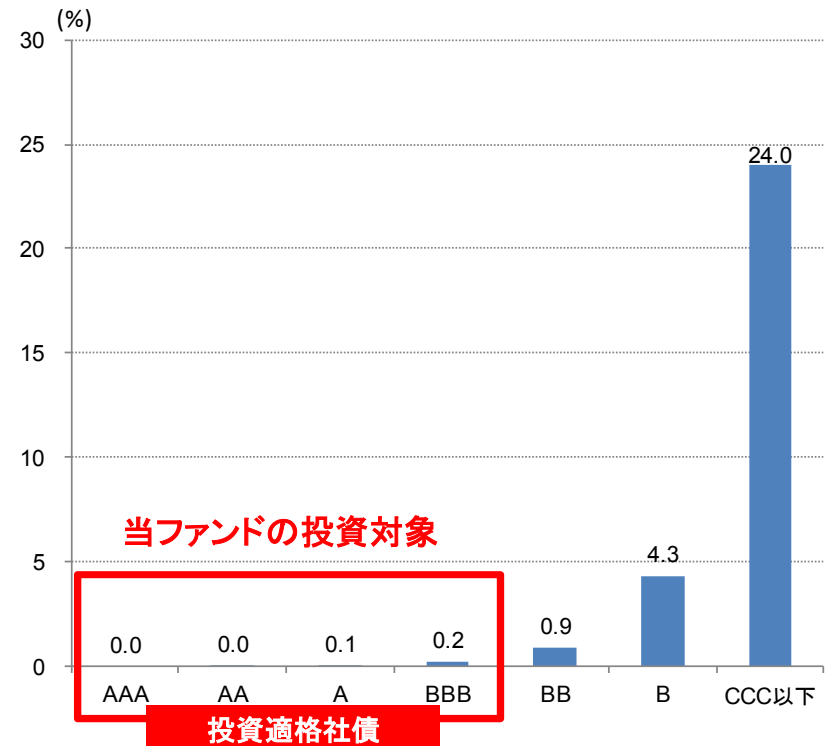
## 投資対象について

- ◆ 投資適格社債は相対的に信用力が高く、元本の返済または利払いを行うことができなくなる状態(デフォルト)が起こる可能性が低い傾向にあります。

### 格付け(信用力)と利回りの関係



### 社債市場の格付け別デフォルト率(1981年~2017年の平均)



出所: S&Pのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成  
 ※上記データは1981年~2017年の各年間デフォルト率の平均値

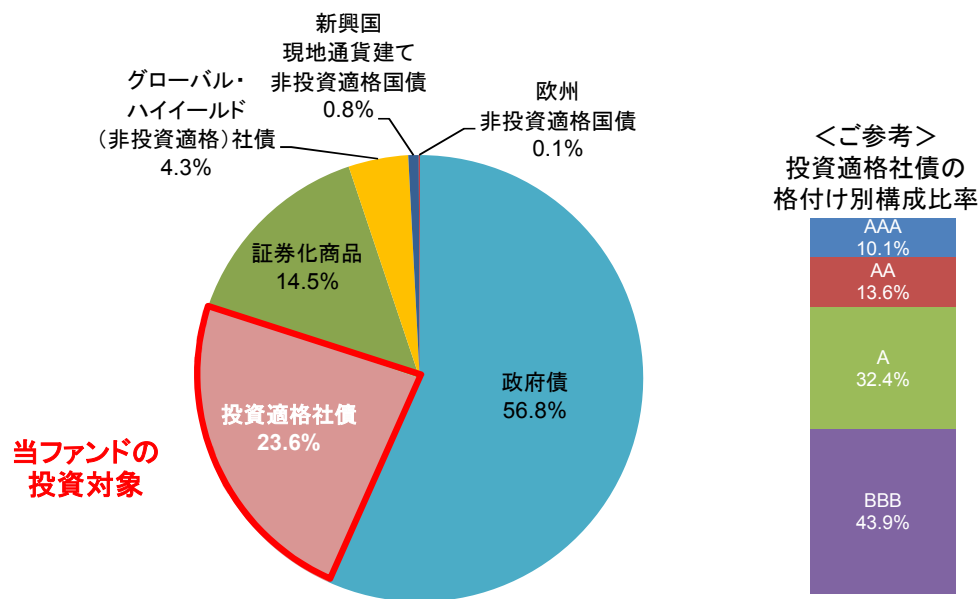
ポイント1:先進国の投資適格社債への投資

# 世界投資適格社債の市場規模について

- ◆ 世界債券市場の規模は、2019年1月末現在、約54兆米ドル(約5,900兆円\*)となっています。
- ◆ 世界投資適格社債はその約4分の1を占め、その市場規模も拡大傾向にあります。

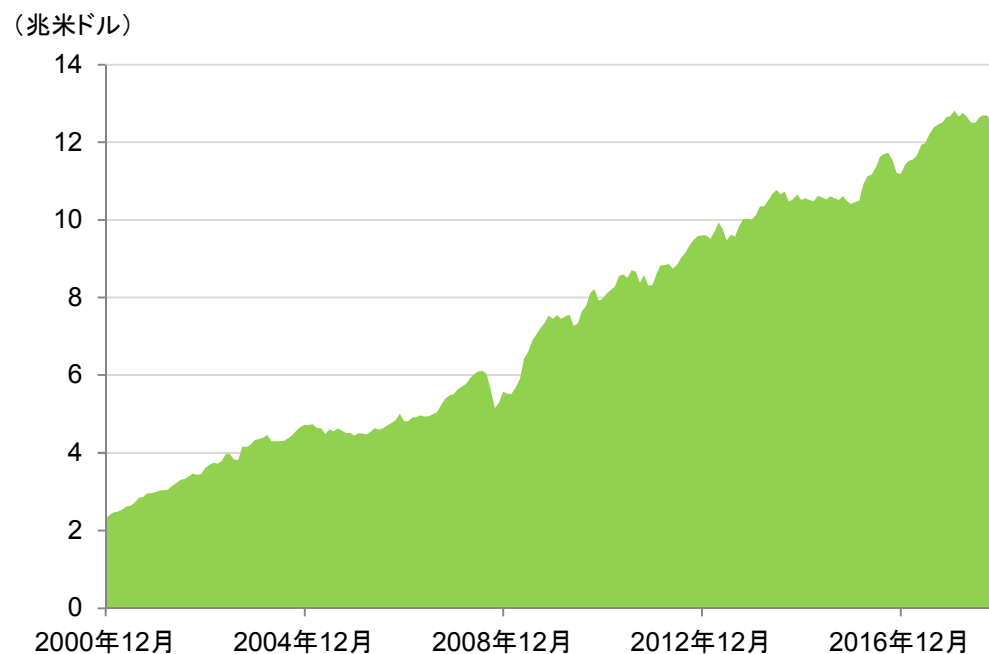
## 世界債券市場構成比率 (2019年1月末現在)

総額 約54兆米ドル(約5,900兆円\*)  
うち投資適格社債 約13兆米ドル(約1,400兆円\*)



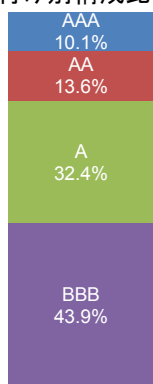
出所:ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成  
\*2019年1月末現在の為替レート、1米ドル=108.96円で換算  
※米ドルベースのデータです。小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがあります。  
指数については20ページをご参照ください。

## 世界投資適格社債の市場規模推移 (2000年12月末～2019年1月末)



出所:ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成  
※米ドルベースのデータです。  
指数については20ページをご参照ください。

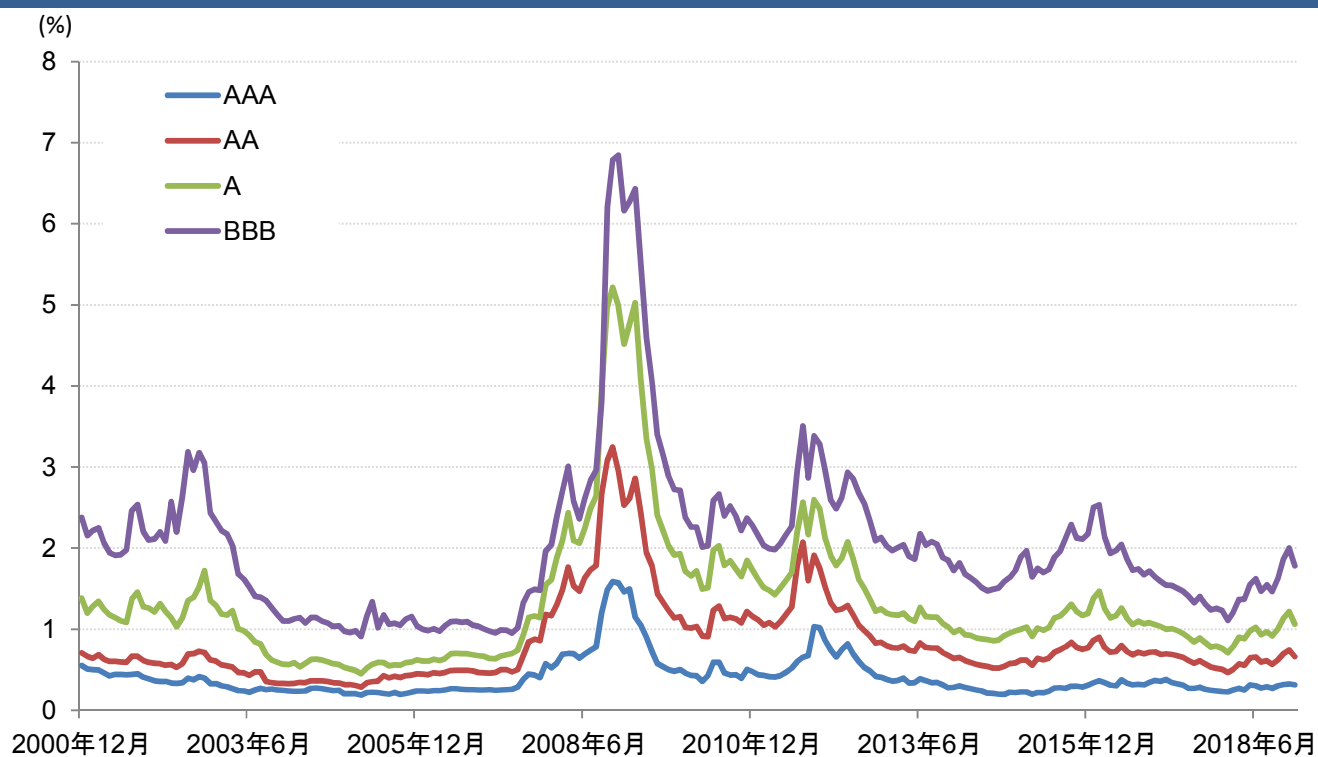
### <ご参考> 投資適格社債の 格付け別構成比率



# スプレッド(国債と社債の利回り格差)の推移

- ◆ 世界投資適格社債のスプレッドは、2016年から2017年にかけて概ね縮小傾向にありましたが、2018年に入ってから、米国金利上昇などの影響を受けて拡大傾向にありました。
- ◆ 世界投資適格社債は、企業業績の改善が続く中で需給も底堅く、今後も投資妙味があると考えられます。

世界投資適格社債のスプレッド推移(2000年12月末～2019年1月末)



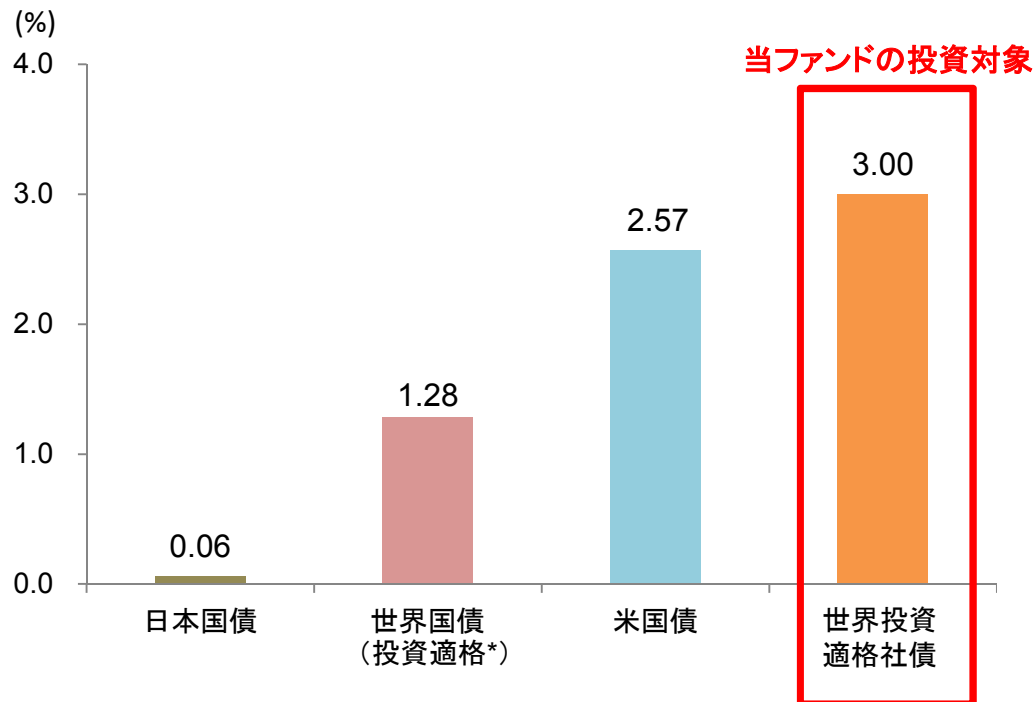
出所:ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成  
 指数については20ページをご参照ください。



## ポイント2: 相対的に魅力的な利回り水準 各種債券との利回り比較

◆ 当ファンドの主要投資対象である世界投資適格社債の利回りは、相対的に高い水準にあります。

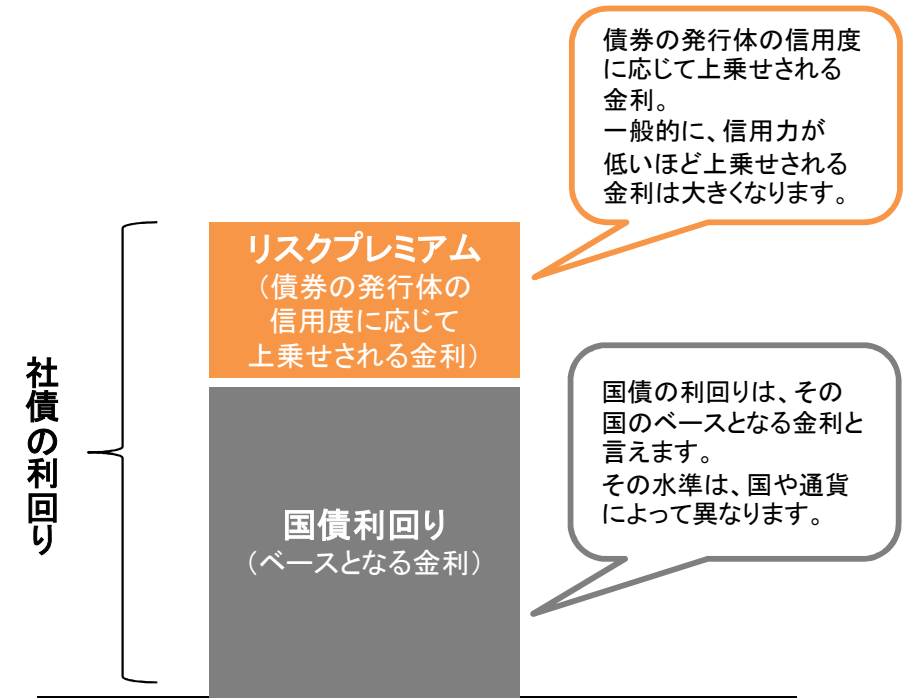
各種債券の利回り(2019年1月末時点)



出所:ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

\*格付けがS&PでBBBかつMoody'sでBaa相当以上  
指数については20ページをご参照ください。

社債の利回りのイメージ

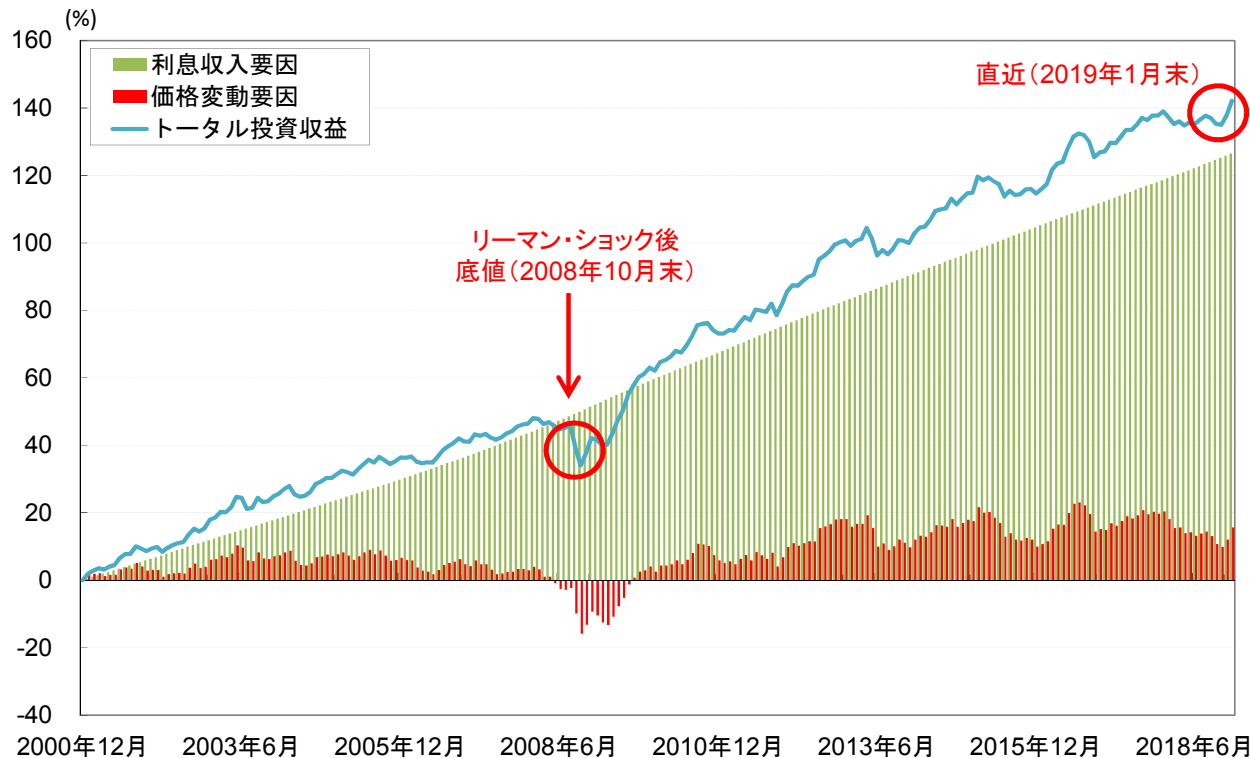


※上記はイメージ図です。

# 世界投資適格社債指数の投資収益の要因分析

◆ 世界投資適格社債は、利息収入の積み上げ効果により、高い収益が期待されます。

世界投資適格社債指数の投資収益の要因分析  
(2000年12月末～2019年1月末)



※トータル投資収益の内訳が利息収入要因と価格変動要因になります。

	トータル投資収益	利息収入要因	価格変動要因
1年間の最大上昇率*1	20.25%*2	5.59%	14.67%
1年間の最大下落率*1	-7.92%*3	5.41%	-13.33%
2000年12月末からリーマン・ショック後底値まで (2000年12月末～2008年10月末)	34.05%	49.93%	-15.88%
全期間(2000年12月末～2019年1月末)	142.11%	126.48%	15.64%
全期間年率(2000年12月末～2019年1月末)	5.08%	4.69%	0.39%

\*1 2000年12月末から2017年10月末までの期間、毎月末に投資を開始し1年間保有した場合の最大の上昇率および下落率

\*2 2009年1月末～2010年1月末

\*3 2008年1月末～2009年1月末

出所:ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

※米ドルヘッジベースのデータです。指数については20ページをご参照ください。

上記はあくまで指数ベースの試算であり、ファンドの運用実績ではありません。将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

出所:ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

※価格変動要因は、トータル投資収益から利息収入要因を除いたものとして算出しております。

※米ドルヘッジベースのデータです。

指数については20ページをご参照ください。

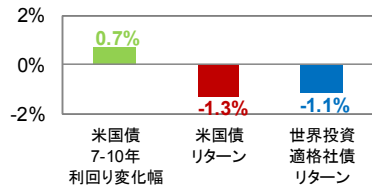
ポイント3: 相対的に良好なパフォーマンス

# 金利上昇時におけるパフォーマンス比較

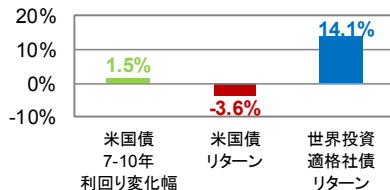
◆ 世界投資適格社債は、2005年12月末以降の米国の金利上昇局面において、景気拡大に伴う信用力の向上などを背景に、米国債と比較して概ね堅調なパフォーマンスを示してきました。

## 米国の金利上昇局面における世界投資適格社債と米国債のパフォーマンス比較(2005年12月末～2019年1月末)

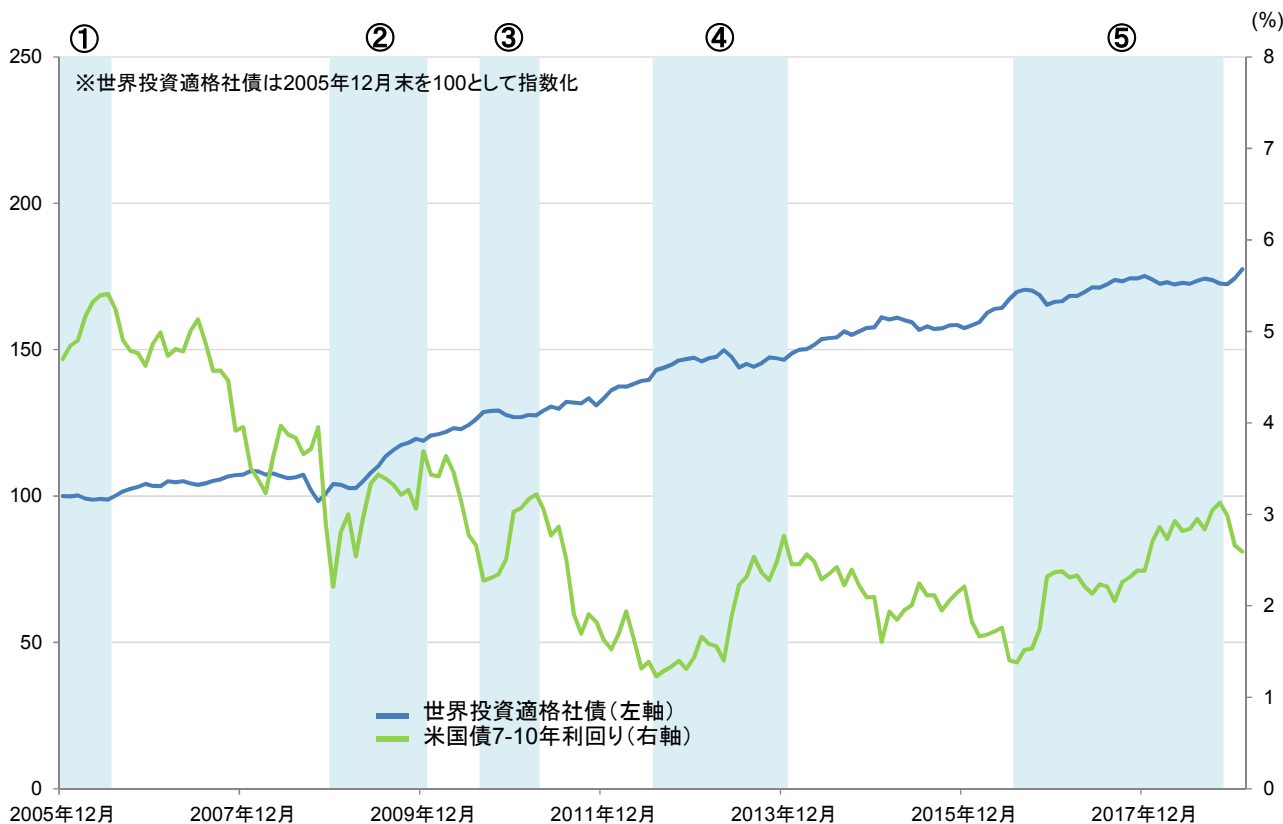
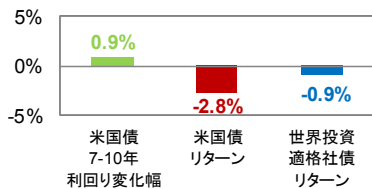
① 2005年12月末～2006年6月末



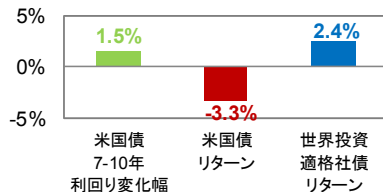
② 2008年12月末～2009年12月末



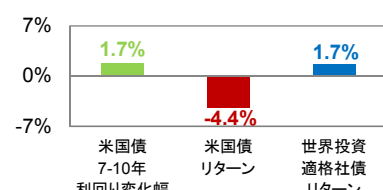
③ 2010年8月末～2011年3月末



④ 2012年7月末～2013年12月末



⑤ 2016年7月末～2018年10月末



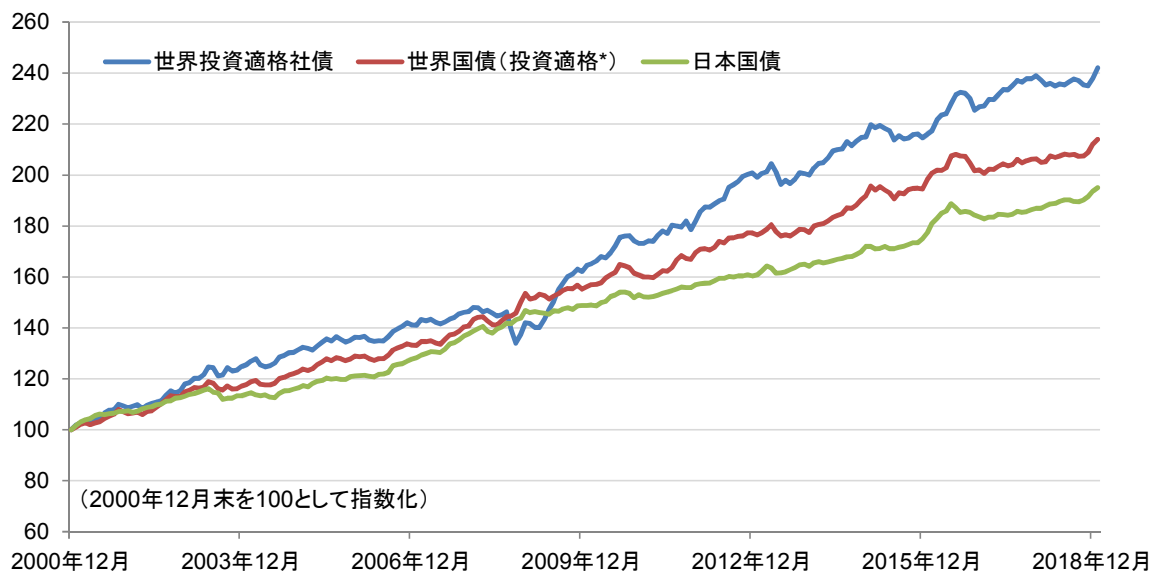
出所:ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成  
 ※世界投資適格社債については米ドルヘッジベースのデータです。  
 指数については20ページをご参照ください。

## ポイント3: 相対的に良好なパフォーマンス

# パフォーマンス推移

- ◆ 世界投資適格社債は、他の債券と比較して良好なパフォーマンスを維持しています。
- ◆ また、長期で保有することで安定的なリターンを獲得することが期待できます。

### 各債券のパフォーマンス推移(2000年12月末～2019年1月末)

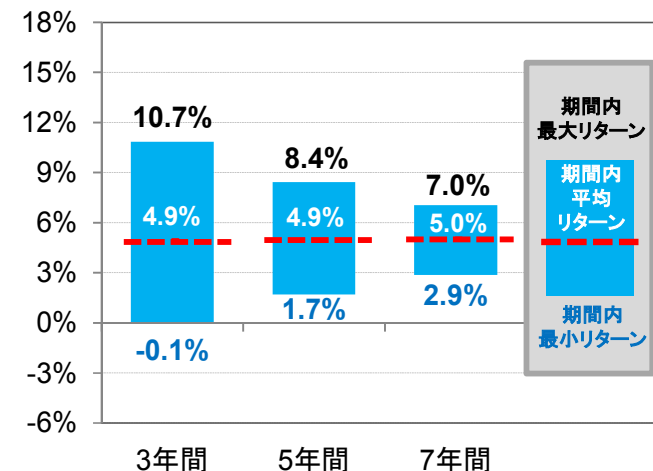


### 各債券のリスク・リターン特性(2000年12月末～2019年1月末)

	年率リターン	年率リスク
世界投資適格社債	5.01%	3.78%
世界国債(投資適格*)	4.30%	2.81%
日本国債	3.76%	2.05%

出所:ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成  
 \*格付けがS&PでBBBかつMoody'sでBaa以上  
 ※すべての指数は米ドルヘッジベースのデータです。  
 指数については20ページをご参照ください。

### 世界投資適格社債の保有期間別リターン(2000年12月末～2019年1月末、年率)



3年間 5年間 7年間  
 期間: 保有期間3年間(開始時期:2000年12月末～2016年1月末)  
 保有期間5年間(開始時期:2000年12月末～2014年1月末)  
 保有期間7年間(開始時期:2000年12月末～2012年1月末)

#### <データの算出方法>

2000年12月末から2019年1月末の月次データを基に、基準月まで一定期間保有した場合の年率リターンです。当資料では、3年間、5年間、7年間にわたり資産を保有したと仮定し、各基準月時点での程度のリターンが得られたかシミュレーションしています。例えば2019年1月末の年率リターンは、2019年1月末までに、3年間保有した場合、5年間保有した場合、7年間保有した場合の年率換算したリターンを表示しています。

出所:ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成  
 ※米ドルヘッジベースのデータです。  
 指数については20ページをご参照ください。

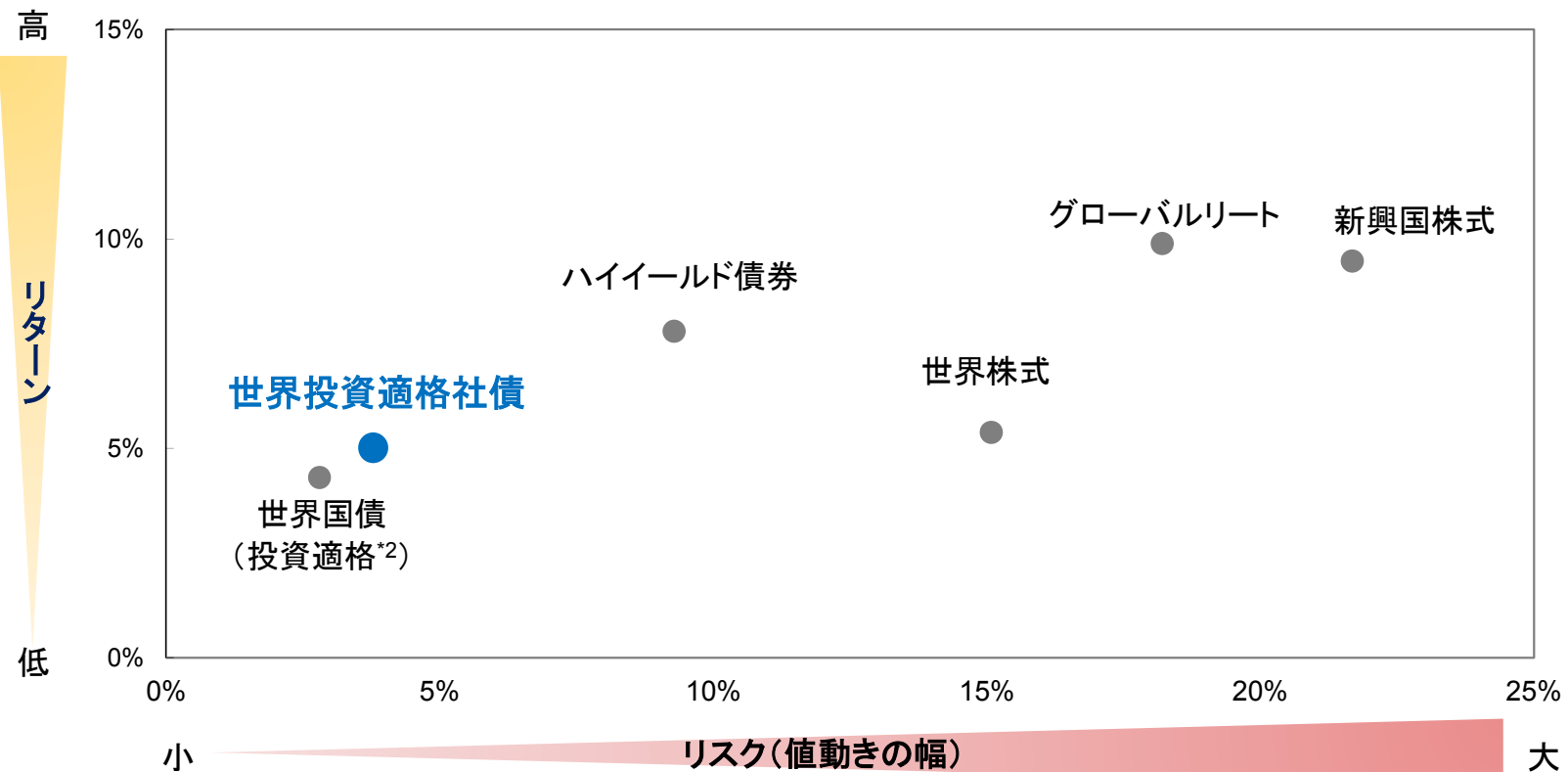
当資料は、ファンドのご紹介を目的としてBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社の情報提供により野村証券株式会社が作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。また、リスクに係る説明(2～3ページ)をご覧ください。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする交付目論見書の内容を必ずご確認のうえ、ご自身で判断ください。

### ポイント3: 相対的に良好なパフォーマンス

## リスクを抑えた安定的な値動き

- ◆ 世界投資適格社債は他の資産クラスと比較すると、リスクを抑えた安定的な値動きが期待できます。

世界投資適格社債と各資産クラスの年率リスク・リターン(米ドルヘッジベース\*1)  
(2000年12月末～2019年1月末)



出所: ブルームバーグ・バークレイズ・インデックス、ブルームバーグのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

\*1 世界株式、グローバルリート、新興国株式については米ドルベース

\*2 格付けがS&PでBBBかつMoody'sでBaa以上  
指数については20ページをご参照ください。

# (ご参考) 参考ポートフォリオの特性 2019年1月末時点

◆ 「参考ポートフォリオ」とは、これから運用を開始するファンドのイメージをつかんで頂くための仮のポートフォリオであり、2019年1月末時点の市場環境等に基づいて作成したものです。ポートフォリオ特性値、国別・通貨別・格付け別・業種別配分比率等は運用担当者の判断、市況動向、ファンドの資金動向等により変わります。将来の分配金の水準や運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ポートフォリオの平均格付け*1	BBB+
平均デュレーション*2	7.41年
組入銘柄数	146銘柄
米ドル為替取引後平均最終利回り(課税前)	4.83%
円ヘッジ後平均最終利回り(課税前)	2.10%

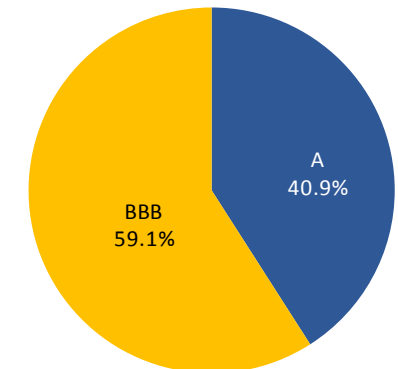
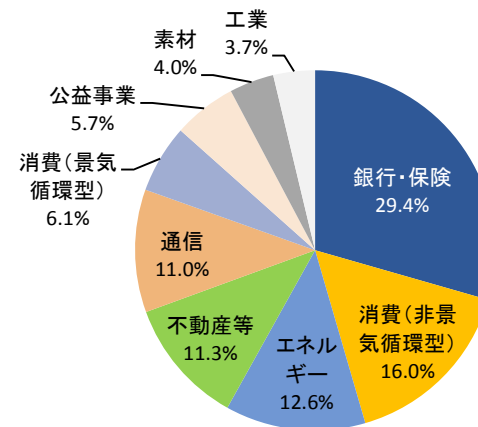
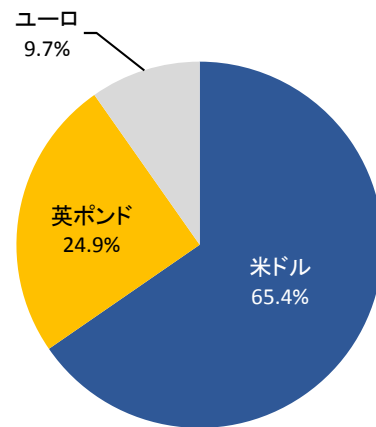
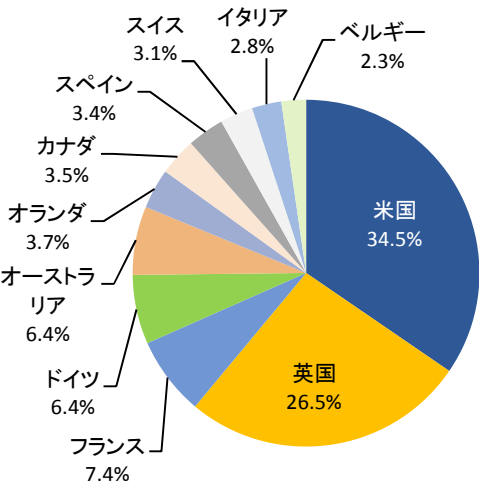
\*1 平均格付けとは、基準日時点で参考ポートフォリオが保有している有価証券に係る信用格付けを加重平均したものであり、当該参考ポートフォリオに係る信用格付けではありません。  
\*2 デュレーションとは、債券を保有することによって利子および元本(=キャッシュフロー)を受け取ることのできるまでの期間を加重平均したものです。

国別配分比率

通貨別配分比率

業種別配分比率

格付け別配分比率



出所:BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

注:上記は2019年1月末時点のデータを示したものであり、今後予告なく変更されることがあります。

※上記の国別配分、通貨別配分、業種別配分、格付け別配分は、キャッシュ等を除く債券部分を100%として計算した値です。※業種別配分は、基本的にブルームバーグの業種分類に基づいておりましたが、副投資運用会社が業務内容から判断して分類したものも含まれます。※格付けはS&P、ムーディーズもしくはその他の認知された格付け業者のうち、いずれか高い格付けを採用し、S&P表記法で記載しています。※各種比率、配分の数値は、小数点第二位以下を四捨五入しており、合計値が100%にならないことがあります。

当資料は、ファンドのご紹介を目的としてBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社の情報提供により野村證券株式会社が作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。また、リスクに係る説明(2~3ページ)をご覧ください。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする交付目論見書の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

# (ご参考)投資予想銘柄①

## 2019年1月末時点

※ 投資予想銘柄はポートフォリオのイメージをつかんでいただくための一例であり、実際に当該銘柄に投資することを保証するものではなく、個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

### オランジュ/Orange (フランス)



写真はイメージであり、同社とは関係ありません。

#### <会社概要>

フランスの主要電気通信事業社。家庭、専門職、大企業などの顧客を対象に通信サービスを提供。

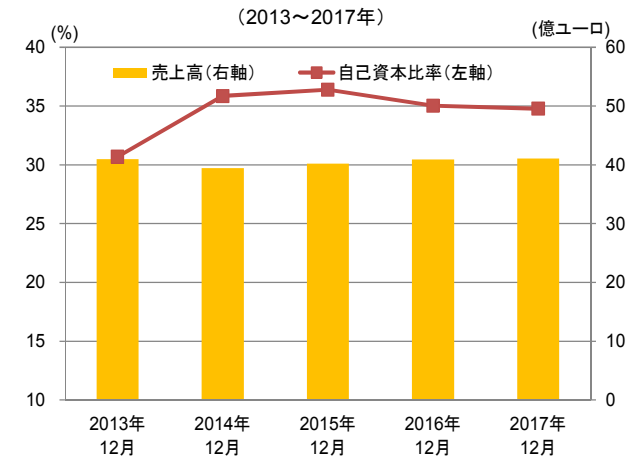
#### <注目ポイント>

フランスの携帯電話キャリア最大手。フランス国内だけではなくヨーロッパ全域で使用可能な4種類のSIMカードを販売。

#### <参考社債:オランジュ>

クーポン:9.0%  
償還日:2031年3月1日  
発行通貨:米ドル  
格付け:BBB+

#### 売上高・自己資本比率推移



産業／通信

### パイオニア・ナチュラル・リソースズ/ Pioneer Natural Resources (米国)



写真はイメージであり、同社とは関係ありません。

#### <会社概要>

独立系の石油・ガス探鉱・生産会社。米国の陸地で、石油とガスの探掘、探鉱、生産に従事する。本社はテキサス州。

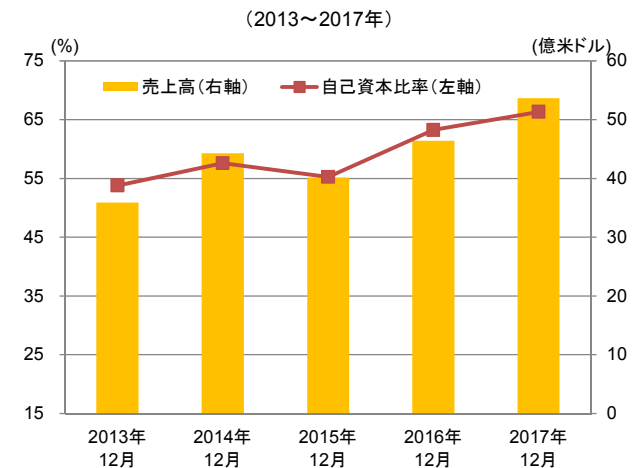
#### <注目ポイント>

トランプ大統領がシェールオイル・ガス開発に関する規制撤廃を公言していることを受け、同社のシェール開発が更に推進される可能性が高まっている。

#### <参考社債:パイオニア・ナチュラル・リソースズ>

クーポン:4.45%  
償還日:2026年1月15日  
発行通貨:米ドル  
格付け:BBB

#### 売上高・自己資本比率推移



産業／エネルギー

出所:ブルームバーグのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

※格付けはS&P、ムーディーズもしくはその他の認知された格付け業者のうち、最も高い格付けを採用し、S&P表記法で記載しています。

当資料は、ファンドのご紹介を目的としてBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社の情報提供により野村証券株式会社が作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。また、リスクに係る説明(2~3ページ)をご覧ください。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする交付目論見書の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

# (ご参考)投資予想銘柄②

## 2019年1月末時点

※ 投資予想銘柄はポートフォリオのイメージをつかんでいただくための一例であり、実際に当該銘柄に投資することを保証するものではなく、個別銘柄の推奨を目的とするものでもありません。

一般消費財・サービス／自動車

### フォード・モーター/Ford Motor(米国)



写真はイメージであり、同社とは関係ありません。

#### <会社概要>

世界を代表する自動車メーカー。

#### <注目ポイント>

同社は電動化の専門部門を立ち上げ、電動化戦略をすすめている。EV(電気自動車)のコンパクトSUVをはじめ、自動運転のハイブリッド車等の電動車両のラインナップ強化に乗り出す。“EVシフト”の動きが加速する中で、同社のシェアの拡大が期待できる。

#### <参考社債:フォード・モータークレジット>

クーポン:4.375%

償還日:2023年8月6日

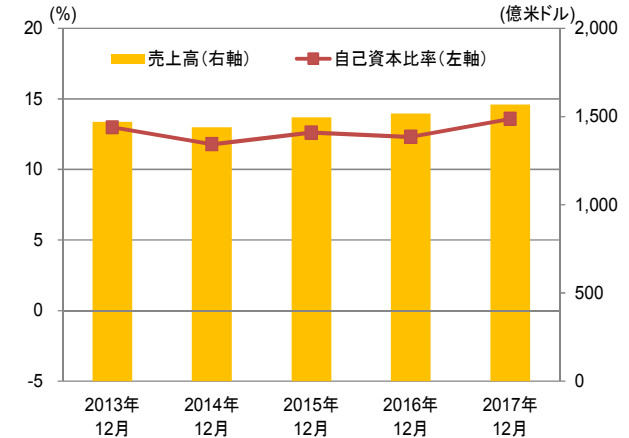
発行通貨:米ドル

格付け:BBB

\*フォード・モーターの米ドル建て社債は、同社の子会社であるフォード・モータークレジットを通じて発行されています。

#### 売上高・自己資本比率推移

(2013~2017年)



### キンダー・モルガン/Kinder Morgan(米国)



写真はイメージであり、同社とは関係ありません。

#### <会社概要>

北米最大規模のパイプライン輸送・エネルギー貯蔵会社。パイプラインを保有・運営し、天然ガスやガソリン、原油、二酸化炭素などの製品を輸送する。

#### <注目ポイント>

米国全土にパイプラインを保有・運営。キンダー・モルガン・エネルギー・パートナーズを介したパイプラインにより、製品を輸送。

#### <参考社債:キンダー・モルガン>

クーポン:4.3%

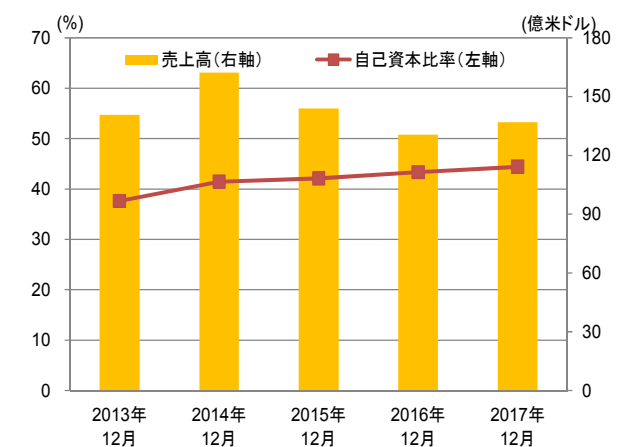
償還日:2025年6月1日

発行通貨:米ドル

格付け:BBB-

#### 売上高・自己資本比率推移

(2013~2017年)



出所:ブルームバーグのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

※格付けはS&P、ムーディーズもしくはその他の認知された格付け業者のうち、最も高い格付けを採用し、S&P表記法で記載しています。

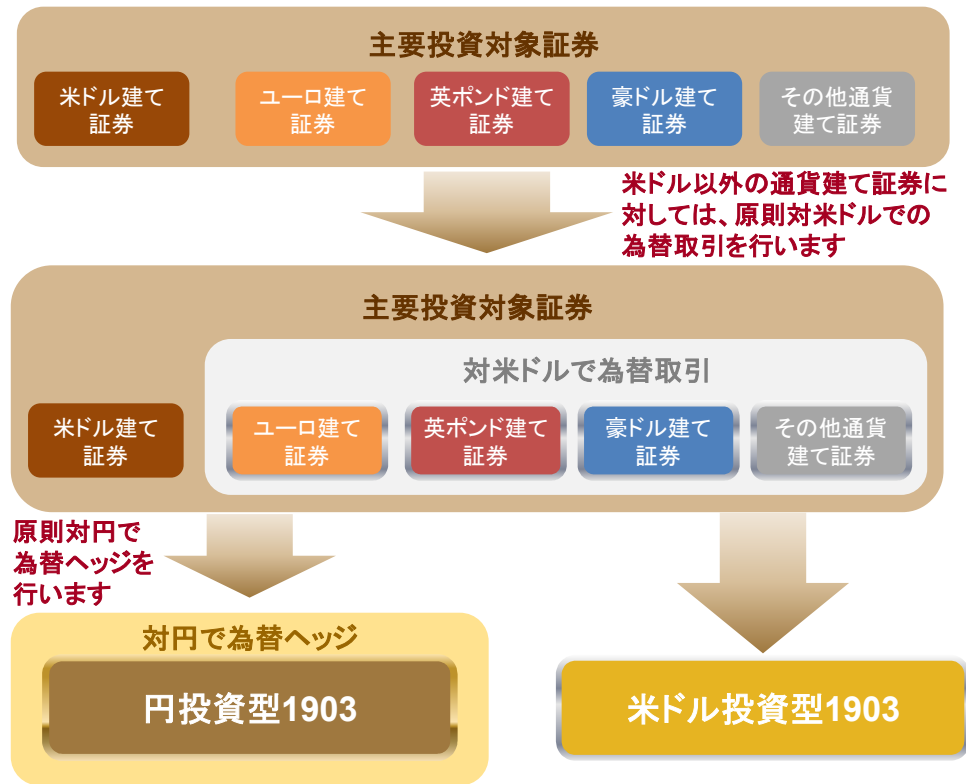
当資料は、ファンドのご紹介を目的としてBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社の情報提供により野村証券株式会社が作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。また、リスクに係る説明(2~3ページ)をご覧ください。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする交付目論見書の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。



# 為替取引について

- ◆ 米ドル以外の投資対象資産について、投資対象通貨売り、米ドル買いの為替取引を行います。
- ◆ 「円投資型1903」は原則として、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行います。
- ◆ 円、米ドルの短期金利が、投資対象通貨の短期金利を上回っている場合、その金利差がプレミアム(収益)となります。逆の場合は、その金利差がコスト(費用)となります。

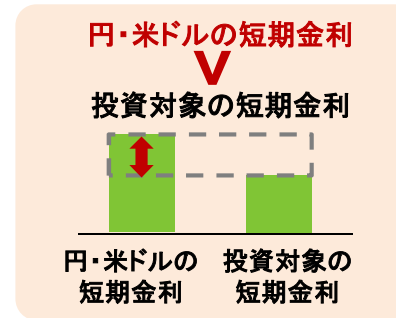
## 円投資型1903と米ドル投資型1903の為替取引のイメージ



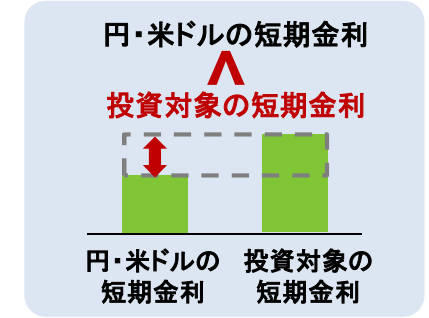
※上図はイメージ図であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また市況動向等によっては上記の通りにならない場合があります。

## 為替取引のイメージ

為替取引によるプレミアムの獲得

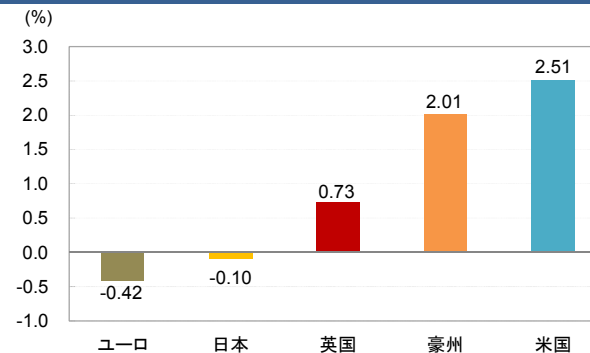


為替取引によるコストの発生



※上図はイメージ図です。

## (ご参考) 主要国短期金利\*(2019年1月末時点)



出所:ブルームバーグのデータを基に、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成  
\* 日本、米国、ユーロ、英国は1ヶ月LIBOR、豪州はBBSW(バンクビル・スワップ)1ヶ月金利

# 初回分配\*1時の分配金の試算額について

- ◆ ファンドの分配金は、ファンドの分配基準日に利子・配当等収益、1口当たり純資産価格水準等を勘案し決定しますが、2019年1月末現在における参考ポートフォリオの特性値や市場環境等を基に、1口当たり純資産価格を<円投資型1903>10,000円、<米ドル投資型1903>100米ドルと仮定した場合の初回分配時の分配金の試算額は以下の通りです。

## 初回分配時の分配金の試算額(1口当たり、課税前)

- 原則、毎年3月、6月、9月、12月の5日(ファンド営業日\*2でない場合はその直前のファンド営業日)時点の受益者に対して、分配を行います。

\*1 初回の分配基準日は2019年6月5日(水)となります。

\*2 ファンド営業日とは、ルクセンブルグ、ニューヨーク、ロンドンおよび東京の銀行および日本における販売会社が全て営業を行う日(毎年12月24日を除きます。)、または管理会社が随時決定するその他の日をいいます。

分配金の試算額

<円投資型1903>

20~40円程度

<米ドル投資型1903>

0.4~0.6米ドル程度

実際の分配金は上記の分配金の試算額とは異なる場合がありますので十分ご注意ください。

上記は、初回分配時の分配金について、2019年1月末現在で、参考ポートフォリオの利回り、為替取引によるプレミアム/コスト等の特性値や市場環境等に基づき、1口当たり純資産価格を<円投資型1903>10,000円、<米ドル投資型1903>100米ドルと仮定する等の一定の条件の下で、投資運用会社であるBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が行った試算額です。なお、実際の分配金は、ファンドの分配基準日に利子・配当等収益、1口当たり純資産価格水準等を勘案し決定します。また、実際のポートフォリオは2019年1月末現在の参考ポートフォリオとは異なり、1口当たり純資産価格は市場環境等によって変動します。したがって実際の分配金は上記の分配金の試算額とは異なる場合がありますので十分ご注意ください。

分配金は交付目論見書に記載の「分配方針」に基づいて最終的に管理会社が決定しますが、管理会社の判断により分配が行われない場合もあります。また将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

# インサイト・インベストメント・マネジメントについて

インサイトはロンドンを拠点とする、債券のアクティブ運用、絶対収益型運用\*1において専門性を有する運用会社です。

インサイトは、2002年に英国で設立された運用会社で、その前身は英国で最も古い資産運用会社の1つであるクレリカル・メディカル(1824年創業)です。2009年11月にBNYメロン・グループに加わり、同グループ傘下の運用会社となりました。

インサイトは、債券アクティブ運用、絶対収益型運用\*1、LDI\*2等の負債リスク管理の分野で高い評価を得ています。



▶ **総運用資産：7,873億米ドル(約85.8兆円)(2018年9月末時点)**

2019年1月末現在の為替レート、1米ドル=108.96円で換算

▶ **最近の受賞例：**

**イギリス・ペンション・アワード**

インベストメント・マネージャー・オブ・ザ・イヤー(2018年)

債券マネージャー・オブ・ザ・イヤー(2016年、2017年、2018年)

**ヨーロッパ・ペンション・アワード**

最優秀マネージャー(2016年)

LDI\*2マネージャー・オブ・ザ・イヤー(2014年、2015年、2016年、2018年)

**グローバル・インベスター・アワード**

LDI\*2マネージャー・オブ・ザ・イヤー(2017年、2018年)

**「インベストメント・ウィーク誌」スペシャリスト・インベストメント・アワード**

新興国社債部門 最優秀賞(2016年)

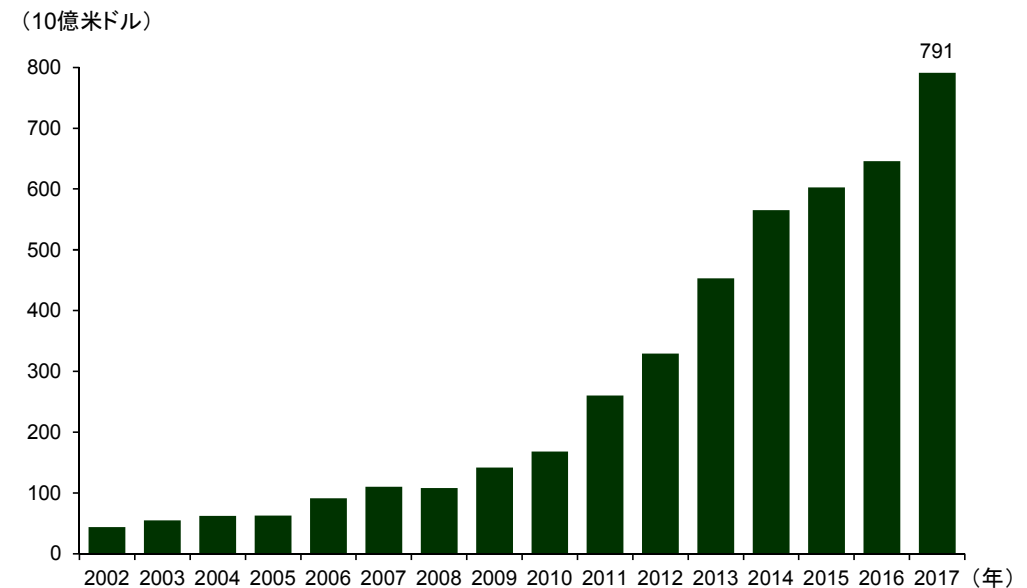
出所：インサイトの情報を基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

\*1 絶対収益型運用とは市場の変動に左右されないで収益を追求することを目的とした運用を指します。投資元本に対する収益を追求することを目標として運用を行いますが、「必ず収益を得ることが出来る運用」という意味ではありません。

\*2 Liability Driven Investmentの略。将来の年金の支払額(年金債務)を意識して、それに見合う運用収益を得ることを目標とする資産運用です。

※上記の評価は過去の一定期間の実績を評価したものであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 運用資産残高推移(2002年～2017年)



# BNYメロンについて



## 歴史と実績ある米国屈指の名門銀行の融合により誕生した、世界最大級の総合金融会社

- ▶ BNYメロンは、2007年に旧ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・カンパニー・インク(1784年設立)と旧メロン・フィナンシャル・コーポレーション(1869年設立)が合併してできた会社です。
- ▶ 1980年代以降、BNYメロン・グループ\*1の資産運用部門は運用会社の買収を通じて成長を続け、伝統的なパッシブ・マネジャーからヘッジ・ファンドまでそれぞれ専門性を持った複数の運用会社を傘下に有しています。

\*1 BNYメロン・グループとは、BNYメロンを最終親会社とするグループの総称です。  
左写真: ニューヨークにある本社ビル



### BNYメロン 基本情報

- ◆ 格付け: S&P A
- ◆ 資産運用部門: 約1.8兆米ドル(約196兆円)\*2
- ◆ 資産管理部門: 約34.5兆米ドル(約3,759兆円)\*2

出所: BNYメロン、2018年9月末時点 \*2 2019年1月末現在の為替レート、1米ドル=108.96円で換算

## 機関投資家向け総運用資産(全世界)ランキング

順位	運用会社	資産総額 (億米ドル)	順位	運用会社	資産総額 (億米ドル)
1	ブラックロック	38,832	11	パシフィック・インベストメント・マネジмент	8,969
2	バンガード・グループ	31,014	12	ヌヴィーン	8,908
3	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ	21,033	13	ノーザン・トラスト・アセット・マネジмент	7,595
4	BNYメロン・インベストメント・マネジмент*3	16,553	14	ゴールドマン・サックス・グループ	7,124
5	リーガル&ジェネラル・インベストメント・マネジмент	12,911	15	レグ・メイソン	6,433
6	フィデリティ・インベストメンツ	11,971	16	アバディーン・スタンダード・インベストメンツ	6,401
7	JPモルガン・アセット・マネジмент	10,817	17	アクサ・インベストメント・マネージャーズ	6,309
8	アムンディ	10,810	18	ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ・エル・ピー	5,771
9	ウェリントン・マネジмент・グループ	10,790	19	キャピタル・グループ	5,758
10	ブルデンシャル・ファイナンシャル	10,343	20	UBSアセット・マネジмент	5,543

出所: ペンションズ&インベストメンツ誌(データ: 2017年12月末現在) 資産総額は億米ドル未満を四捨五入した数字です。

\*3 BNYメロン・インベストメント・マネジментはBNYメロンの資産運用部門です。

当資料は、ファンドのご紹介を目的としてBNYメロン・アセット・マネジмент・ジャパン株式会社の情報提供により野村證券株式会社が作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。また、リスクに係る説明(2~3ページ)をご覧ください。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする交付目論見書の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

# ご留意事項／当資料についてなど

## ご留意事項

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、ご購入、ご換金の各お申込みの受付を中止すること、および既に受付けた各お申込みの受付を取り消す場合があります。

**お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする交付目論見書の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。**

## 当資料について

- 当資料は、ファンドのご紹介を目的としてBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社の情報提供により野村證券株式会社が作成したご参考資料です。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等は、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

## 当資料で使用した市場指数について

- 当資料で使用した市場指数は下記のとおりで、一般的な市場の値動きをみるための指数を採用しています。  
世界投資適格社債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合クレジット・インデックス、グローバル・ハイイールド（非投資適格）社債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル・ハイイールド・インデックス、新興国現地通貨建て非投資適格国債：ブルームバーグ・バークレイズEMローカル・カレンシー・ガバメント・インデックス、欧州非投資適格国債：ブルームバーグ・バークレイズ・ユーロ・トレジャリー・ハイイールド・インデックス、政府債：ブルームバーグ・バークレイズ・ガバメント・インデックス、証券化商品：ブルームバーグ・バークレイズ・セキュライズド・インデックス、世界国債（投資適格）：ブルームバーグ・バークレイズ総合国債インデックス、米国債：ブルームバーグ・バークレイズ米国債インデックス、米国債7-10年：ブルームバーグ・バークレイズ米国債インデックス（7-10年）、日本国債：ブルームバーグ・バークレイズ・アジア・パシフィック日本国債インデックス、ハイイールド債：ICE BofAメリルリンチ・グローバル・ハイイールド指数、世界株式：MSCIワールド指数（配当込み）、新興国株式：MSCIエマージング・マーケット指数（配当込み）、グローバルリート：S&Pグローバルリート指数（配当込み）
- FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。
- ICEバンク・オブ・アメリカ・メリルリンチの各指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はICEバンク・オブ・アメリカ・メリルリンチに帰属しております。
- MSCIの各指数に関する全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。
- S&P500指数の所有権およびその他の一切の権利は、スタンダード・アンド・プアーズが有しています。スタンダード・アンド・プアーズは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

## ファンドの関係法人

<管理会社> BNYメロン・インターナショナル・マネジメント・リミテッド

<投資運用会社> BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

<副投資運用会社> インサイト・インベストメント・マネジメント（グローバル）リミテッド

<受託会社> CIBCバンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド

<管理事務代行会社／保管会社> ノムラ・バンク・ルクセンブルク S.A.

<販売会社／代行協会員> 野村證券株式会社

当資料は、ファンドのご紹介を目的としてBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社の情報提供により野村證券株式会社が作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。また、リスクに係る説明（2～3ページ）をご覧ください。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする交付目論見書の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

# お申込みメモ

ファンド名	ジャパン・オフショア・ファンド・シリーズ NM世界投資適格社債ファンド 円投資型1903/米ドル投資型1903
購入の申込期間	2019年3月7日～2019年3月25日 午後2時までに申込みが行われ、かつお申込みについての販売会社所定の事務手続が完了したものが、当日のお申込み受付分となります。
購入単位	1口以上1口単位
購入価額	円投資型1903 : 1口当たり10,000円 米ドル投資型1903 : 1口当たり100米ドル
購入代金	2019年3月27日までに販売会社にお支払いください。
換金(買戻し)単位	1口以上1口単位
換金(買戻し)価額	管理会社が換金(買戻し)請求を受領した日に計算される1口当たり純資産価格 ※ 2019年3月28日以降のファンド営業日に買戻しの請求ができません。 ファンド営業日とは、ルクセンブルグ、ニューヨーク、ロンドンおよび東京の銀行および日本における販売会社が全て営業を行う日(毎年12月24日を除きます。)、または管理会社が随時決定するその他の日をいいます。 なお、購入後6年未満での買戻しの場合、後記の換金(買戻し)手数料がかかります。
換金(買戻し)代金	約定日(販売会社が換金(買戻し)注文の成立を確認した日。通常申込みの翌営業日)から起算して4営業日目から換金(買戻し)代金を受け取りいただけます。
換金(買戻し)の申込締切時間	午後3時までに申込みが行われ、かつお申込みについての販売会社所定の事務手続が完了したものを当日のお申込み受付分とします。
換金制限	受益者の利益を保護するために、管理会社は、受託会社と協議の上、各買戻日に買い戻すことができるファンド証券の口数を決定、または管理会社が決定した方法で制限することができます。 なお、クローズド期間はありません。

信託期間	円投資型1903および米ドル投資型1903(いずれも2019年3月28日設定)の存続期間は2026年3月27日までです。
繰上償還	ファンドは、以下のいずれかの事由が生じた場合等には、信託期間の満了前に償還します。 ・ファンドを継続すること、または別の法域に移転することが違法となるか、または実行不可能であるかもしくは得策ではなく、またはファンドの受益者の利益に反すると受託会社が判断した場合 ・ファンドの純資産総額が1,000万米ドル以下となり、管理会社がファンドの償還を決定した旨を書面により受託会社に対して通知した場合 なお、受益者への償還金のお支払いには、信託期間終了日から半年程度、または監査手続等の進捗によってはさらに時間を要する場合があります。
決算日	毎年1月31日(初回は2020年1月31日)
収益分配	分配は、毎年3月、6月、9月、12月の5日(ファンド営業日でない場合はその直前のファンド営業日)時点の受益者に対して、行われます。初回は2019年6月です。 なお、分配金の支払いは管理会社の裁量に基づくものであり、分配が行われないこともあります。
運用報告書	ファンドの計算期間の終了(毎年1月31日)およびファンドの運用の終了後に、期間中の運用経過および、ファンドが保有する資産の内容などを記載した交付運用報告書を作成し、知っている受益者に交付します。
課税関係	課税上は公募外国株式投資信託として取り扱われます。
その他	ご投資にあたっては「外国証券取引口座」が必要です。

※詳しくは交付目論見書の「手続き・手数料等」をご覧ください。

当資料は、ファンドのご紹介を目的としてBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社の情報提供により野村証券株式会社が作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。また、リスクに係る説明(2～3ページ)をご覧ください。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする交付目論見書の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

# ファンドの費用①

- お客様には以下の費用をご負担いただきます。

投資者が直接的に負担する費用			
購入時手数料	かかりません。		
換金(買戻し)手数料	購入後の経過期間に応じて、換金(買戻し)時に換金(買戻し)手数料が適用されます。ご負担いただく換金(買戻し)手数料は、保有期間が長期に及ぶほど、次第に減っていきます。		
	換金(買戻し)請求日	1口当たり換金(買戻し)手数料	
		円投資型1903	米ドル投資型1903
	2019年3月28日から2020年3月27日まで	<u>200円</u>	<u>2.00米ドル</u>
	2020年3月28日から2021年3月27日まで	<u>175円</u>	<u>1.75米ドル</u>
	2021年3月28日から2022年3月27日まで	<u>150円</u>	<u>1.50米ドル</u>
	2022年3月28日から2023年3月27日まで	<u>125円</u>	<u>1.25米ドル</u>
	2023年3月28日から2024年3月27日まで	<u>100円</u>	<u>1.00米ドル</u>
2024年3月28日から2025年3月27日まで	<u>50円</u>	<u>0.50米ドル</u>	
2025年3月28日以降	かかりません	かかりません	
	例えば、2020年3月27日に換金を請求した場合、1口当たり200円/2.00米ドル、また、2021年3月27日に換金を請求した場合、1口当たり175円/1.75米ドルの手数料をお支払いいただきます。 ※換金(買戻し)手数料には、消費税は課せられません。 ※換金(買戻し)手数料は、繰上償還の場合にも発生する場合があります。		
信託財産留保額	かかりません。		

## ファンドの費用②

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

円投資型1903および米ドル投資型1903の日々の純資産総額に対する以下の報酬(年率)が、ファンド資産より徴収されます。

(\*) 受託報酬は、NM世界投資適格社債ファンド全体で年間最低報酬(10,000米ドル)が適用される場合があります。

	円投資型1903	米ドル投資型1903
管理報酬(投資運用報酬および副投資運用報酬を含みます。)	0.45%	0.45%
販売管理報酬	0.32%	0.34%
受託報酬(*)	0.01%	0.01%
管理事務代行報酬	0.10%	0.10%
保管報酬	0.05%	0.05%
代行協会員報酬	0.05%	0.05%
販売報酬	0.52%	0.52%
合計	<b>1.50%</b>	<b>1.52%</b>
その他の費用・手数料	目論見書等の作成・印刷費用、弁護士費用、監査費用、税金、ファンドの設立費用等のその他の費用等は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。	

※ 上記手数料等は、一部の費用等が実費となる場合がある他、ファンドの保有期間等に応じて異なるため、これらを合計した料率、合計額または上限額等を表示することができません。

※ 詳しくは交付目論見書の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。